

サイバーセキュリティ対応 の基礎

日本医療情報学会
研修企画委員会

本セミナーでの目的

- 医療機関におけるサイバーセキュリティ対応をする必要がある。
- 医療情報システムに関するガイドラインにあるようにリスク把握するにも、費用がかかる……
- 重要インフラとしての対応として放置できない
- 最低限自らでできることはないのか？

医療系でのセキュリティ問題

- ウイルス感染が広がって端末が利用不能
- ウイルスによる内部サーバへの攻撃
- 電子カルテのデータが乗っ取られた
 - ファイルの暗号化ロックによる使用不能
 - 身代金の要求
 - バックアップも使用不能・戻せない
- 部門システムのデータが乗っ取られた

セキュリティ対策の背景

- 医療情報システムとの密接な連携
 - ネットワーク経由の連携拡大
- リモートメンテナンス等外部接続の増加
- 医療情報システムと外部との関わりの拡大
- クローズドなネットワークが安全とはいえない現実
- 意図しない状況からのサイバー攻撃の可能性

背景として

- 医療機関へのサイバー攻撃で実際に被害
 - インターネット経由だけでなくことが盲点
- インターネット接続がない筈であるが、リモートメンテナンスはインターネット経由
 - いわゆる管理されていないバックドアがある
 - VPNとはいえVPNルータが管理されている？
 - VPNのファームウェアが古いままで攻撃対象に
- 非常時の運用対応と準備

医療機関への攻撃？

- 政府機関や大手企業への攻撃と同じか？
 - 実は、直接の対象になっているものではない
 - たまたま、外部との接続の機器の脆弱性が狙われた
 - VPN装置の脆弱性から侵入
 - 外部との閉域と思われた接続ネットワークから侵入
 - USBメモリなどの媒体や持ち込みPCなどから侵入

現段階では直接攻撃よりは、弱点から侵入型が多い
「たまたま」であるが、今後は狙い撃ちにも警戒すべき

サイバー攻撃に対する課題

- 病院は外部と繋がっていないと信じられている
- ランサムウェアによる被害が拡大
 - 侵入経路が想定外
 - 被害拡大に十分なブロックができなかった
 - 復旧方法に盲点があった
- ガイドラインにあるリスク評価
 - インターネット接続がないという過信と未評価
 - ウイルス対策だけでは100%ではない
- 重要インフラとしてのBCP対応

診療報酬改定(案)に含まれるサイバー攻撃対応

改定案	現行
【診療録管理体制加算】 【施設基準】 1 診療録管理体制加算1に関する施設基準 (1) (略) (2) 中央病歴管理室が設置されており、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(平成29年5月厚生労働省)（以下、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」という。）に準拠した体制であること。 (3)～(9) (略) (10) 許可病床数が400床以上の医療機関については、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に基づき、専任の医療情報システム安全管理責任者を配置すること。また、当該責任者は、職員を対象として、少なくとも年1回程度、定期的に必要な研修を修了すること。	【診療録管理体制加算】 【施設基準】 1 診療録管理体制加算1に関する施設基準 (1) (略) (2) 中央病歴管理室が設置されており、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(平成29年5月厚生労働省)（以下、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」という。）に準拠した体制であること。 (3)～(9) (略) (新設)

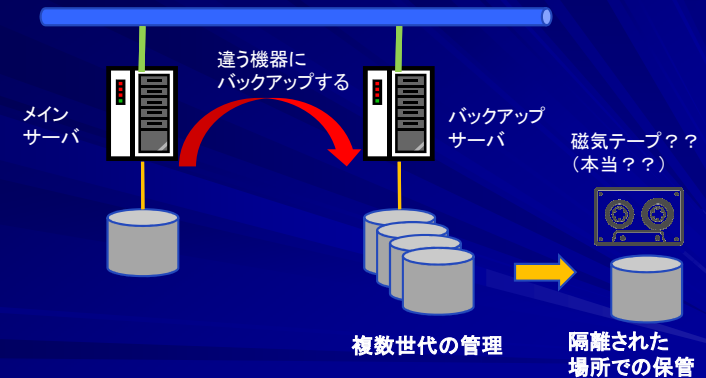
ここにはバックアップへの対応と研修の強化が入っている

に関する研修を行っていること。さらに、非常時に備えた医療情報システムのバックアップ体制を確保することが望ましい。ただし、令和4年3月31日において、既に当該加算に係る届出を行っている医療機関（許可病床数が400床以上のものに限る。）については、令和5年3月31日までの間、当該基準を満たしているものとみなす。	に関する研修を行っていること。さらに、非常時に備えた医療情報システムのバックアップ体制を確保することが望ましい。ただし、令和4年3月31日において、既に当該加算に係る届出を行っている医療機関（許可病床数が400床以上のものに限る。）については、令和5年3月31日までの間、当該基準を満たしているものとみなす。
---	---

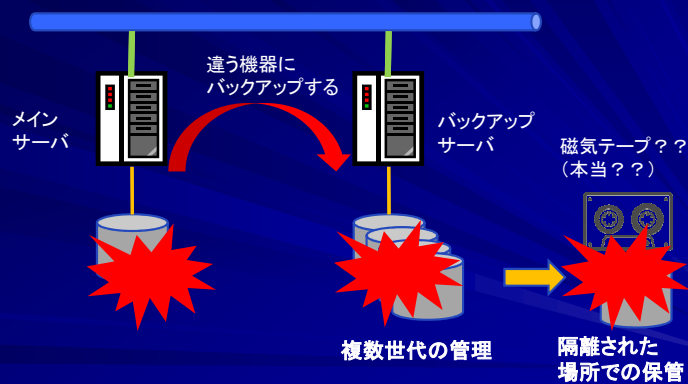
なぜバックアップか？

- 元に戻す唯一の方策
 - 滅多になくてもやはり必要
- ランサムウェアやウイルス対策だけでなく、システムのBCP対応としても重要
 - サイバー攻撃のためだけではない
 - 災害等非常時対応として考える

バックアップに求められるもの



バックアップもやられた(連鎖した)



セキュリティ対策がなぜ重要か？

- 医療情報システムとの密接な連携
 - ネットワーク経由の連携拡大
- リモートメンテナンス等外部接続の増加
- 医療情報システムと外部機関等との関わりの拡大
- クローズドなネットワークが安全とはいえない現実
- 意図しない状況からのサイバー攻撃の可能性

なぜVPN??

■ VPNは安全

- 通信の暗号化が前提なので、データ保護としては有効

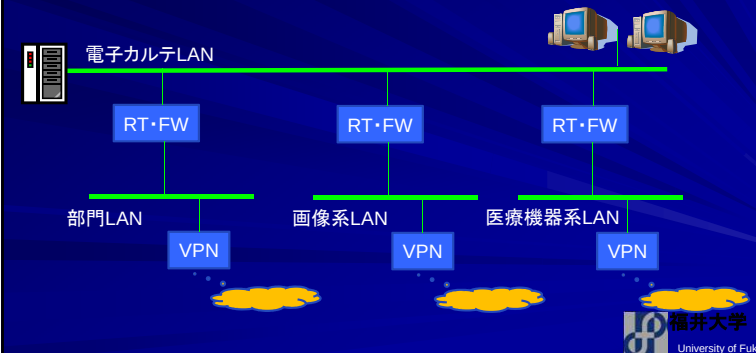
■ しかし、VPN装置の穴が狙われている

- 家庭用ルータでも問題になったことと同じ
- 最新のバージョンに更新しているか?
 - 内部のソフトウェアの脆弱性を狙われる
- ユーザー情報を装置に保持??

リモートメンテのバックドア問題

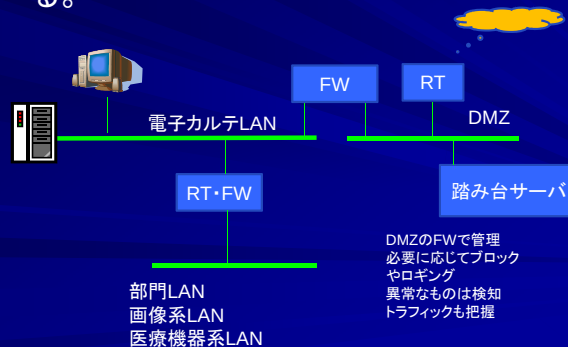
■ リモートメンテ用に個別に回線を引いている

- 部門のLANに接続されている



リモートメンテをまとめて管理

- リモートメンテの入口を1か所にまとめたり、踏み台サーバ経由でないと入れないようにする。



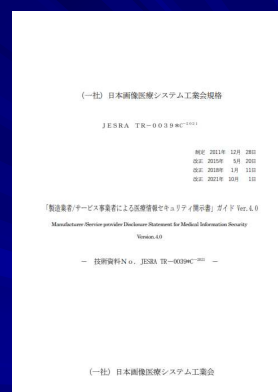
医療情報システムや 医療機器システムでの課題

医療系システムで必要なこと

- OSのセキュリティパッチ
- アプリケーションや利用コンポーネントにおける脆弱性への対応
- システムとしての脆弱性の確認
- 継続的な脆弱性への対応
- ベンダーから運用に関わる内容への告知

でも、現状をどう把握する

- 専門家に依頼するには時間もかかるし・・・
- できることだけでもしてつみよう！



「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」(MDS/SDS)の入手と利用

医療機関等は製造業者/サービス事業者に対し、医療機器を含む対象とするシステム/サービス毎にMDS/SDSを要求し入手してください。対象とするシステム/サービスのMDS/SDSが未作成の場合は、作成するよう要求してください。

医療機関等は「安全管理ガイドライン」の遵守が求められており、医療機関等全体としては医療機関等が主体となって、医療情報システムの製造業者/サービス事業者の協力を受けつつ、安全管理ガイドラインに則って機密性・完全性・可用性を確保するために対象とするシステム/サービスの安全管理を行う必要があります。

一方、医療機器に関しては、薬機法における製造販売業者が厚生労働省通知「医療機器におけるサイバーセキュリティの確保について」に則ってサイバーセキュリティの確保を行う必要があります。

このように医療機関等は対象とするシステム/サービスのリスクアセスメントを行うことが必要となります。MDS/SDSはリスクアセスメントを行う際に利用でき、「安全管理ガイドライン」に対する準拠性が確認できます。対象とするシステム/サービスの情報セキュリティに関する情報を入手することによって、効果的にリスクアセスメントを実施し、有効な技術的対策や運用的対策を立てることができます。

「製造業者による医療情報セキュリティ開示書」チェックリスト

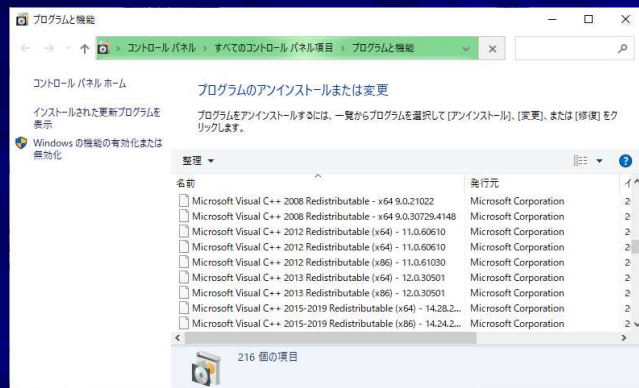
(医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第 5.1 版対応)		作成日 :	
製造業者 :		バージョン :	
製品名称 :			
医療機関における情報セキュリティマネジメントシステムの実施(6.2)			
1 扱う情報のリストを提示してあるか(6.2.C1)	はい	いいえ	対象外 備考
物理的セキュリティ(6.4)			
2 個人情報が入力・参照できる端末の覗き見防止の機能があるか(6.4.C3)	はい	いいえ	対象外 備考
技術的セキュリティ(6.5)			
3 離席時の不正入力防止の機能があるか(6.5.C4)	はい	いいえ	対象外 備考
4 アクセス管理の機能があるか(6.5.C1)	はい	いいえ	対象外 備考
4.1 アクセス管理の認証方式は(6.5.C1)			
・記憶 (ID・パスワード等)	はい	いいえ	対象外 備考
・生体認証 (指紋等)	はい	いいえ	対象外 備考
・物理媒体 (IC カード等)	はい	いいえ	対象外 備考
・その他 (具体的な方法を備考に記入してください)	はい	いいえ	対象外 備考
・上記のうちの二要素を組み合わせた認証 (具体的な組み合わせを備考に記入してください)	はい	いいえ	対象外 備考
4.1.1 パスワードを利用者認証手段として利用している場合、パスワード管理は可能か(6.5.C1)(3)~(5)	はい	いいえ	対象外 備考
4.1.2 セキュリティ・デバイスを用いる場合に破損等で本人の識別情報が利用できない・別の代替機能があるか(6.5.C3)	はい	いいえ	対象外 備考
4.2 利用者の職種・担当業務別の情報区分ごとのアクセス管理機能があるか(6.5.C3)	はい	いいえ	対象外 備考

脆弱性診断の基本

- システム基本的な問題がないかの確認
 - 期待している動作だけでなく、予期しないトラフィックでの問題の有無
 - 設計通りの通信の状態の確認
- 意図しない(利用しない)出入口の有無
- OSとしての安全性確認
 - パッチの適用状態
- アプリケーションの安全性確認
 - 不要サービスなどの有無
 - 異常通信時の対応状況
 - アクセス権の妥当性

どんなアプリを使っている？





サーバの構成に機能の追加の状況がわかる

いわゆる追加コンポーネント



通信の確認

NETSTATというコマンド

■ 現在のPCがどこに通信しているかを見る

```
C:\Users\Wadmin>
C:\Users\Wadmin>netstat
```

アクティブな接続

プロトコル	ローカル アドレス	外部アドレス	状態
TCP	127.0.0.1:1890	yyamapcm8:82522	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:2388	yyamapcm8:40000	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:5354	yyamapcm8:20703	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:5354	yyamapcm8:20704	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9569	yyamapcm8:9570	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9570	yyamapcm8:9569	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9571	yyamapcm8:9572	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9572	yyamapcm8:9571	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9573	yyamapcm8:9574	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9574	yyamapcm8:9573	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9575	yyamapcm8:9576	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9576	yyamapcm8:9575	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9577	yyamapcm8:9578	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:9578	yyamapcm8:9577	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:20703	yyamapcm8:5354	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:20704	yyamapcm8:5354	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:40000	yyamapcm8:2388	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:82522	yyamapcm8:1890	ESTABLISHED
TCP	172.30.0.182:1085	ufproxy01:8080	CLOSE_WAIT

```
TCP [::1]:23936 yyamapcm8:23937 ESTABLISHED
TCP [::1]:23937 yyamapcm8:23936 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:1083 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:1084 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:1218 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:1224 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:2707 ufproxy03:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:2717 ufproxy03:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9113 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9114 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9116 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9118 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9119 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9120 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9121 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9122 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:9123 ufproxy02:8080 CLOSE_WAIT
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11129 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11155 ufproxy01:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11187 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11221 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11915 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11922 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11924 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
TCP [2001:2f8:1f:930:2935:8048:8c9e:f619]:11933 ufproxy02:8080 ESTABLISHED
```

サーバだと通信先が限られるので少ない

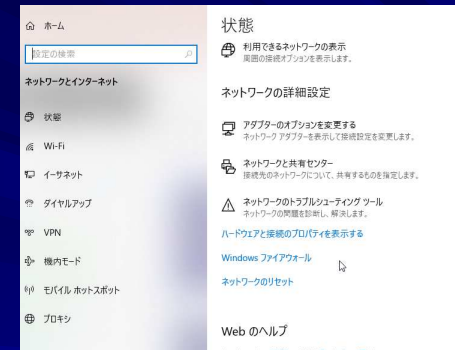
```
C:\>netstat
```

アクティブな接続

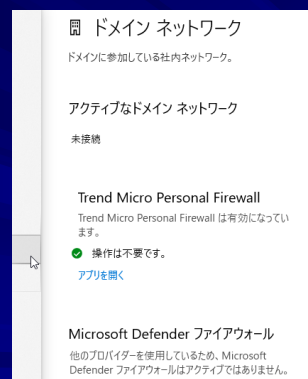
プロトコル	ローカル アドレス	外部アドレス	状態
TCP	127.0.0.1:80686	FHSVWG01:80687	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:80687	FHSVWG01:80686	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:80688	FHSVWG01:80689	ESTABLISHED
TCP	127.0.0.1:80689	FHSVWG01:80688	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:3389	yyamapcm8:12220	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:20426	fhcsad02:49671	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:21053	ufproxy01:8080	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:22861	ufh-ft3-mtml-1:https	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:24815	ufh-ft3-mtml-1:ssh	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:24817	ufh-ft3-mtml-1:ssh	ESTABLISHED
TCP	192.168.144.10:63578	ufh-ft3-mtml-1:ssh	ESTABLISHED
TCP	[2001:2f8:1f:944:c936:2d72:2c1d:67b8]:18025	[2001:2f8:1f:860:162:109]	ESTABLISHED

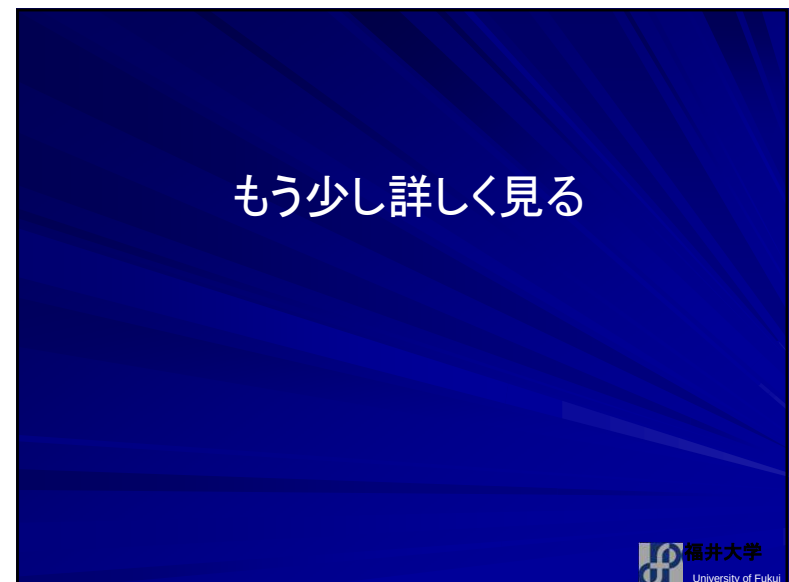
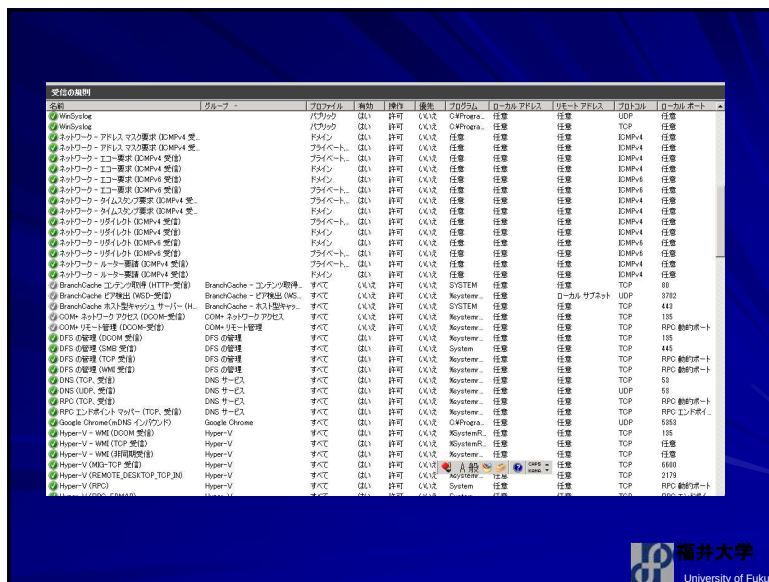
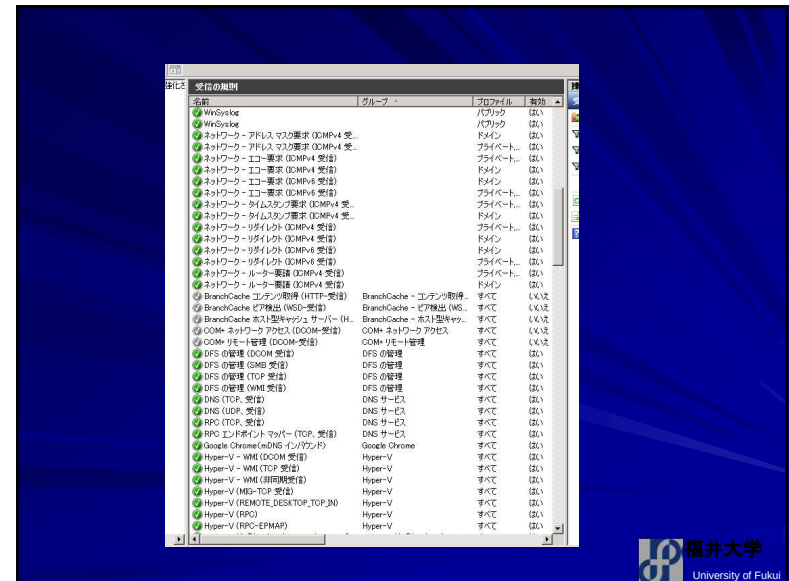
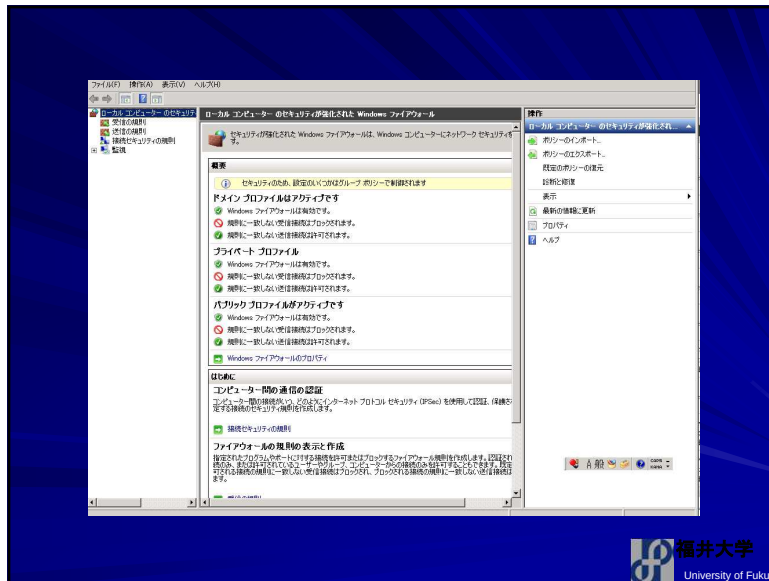
```
:\microsoft-ds ESTABLISHED
```

ファイアウォールの状態確認



ウイルス対策ソフトなどで一括管理になっている場合もある

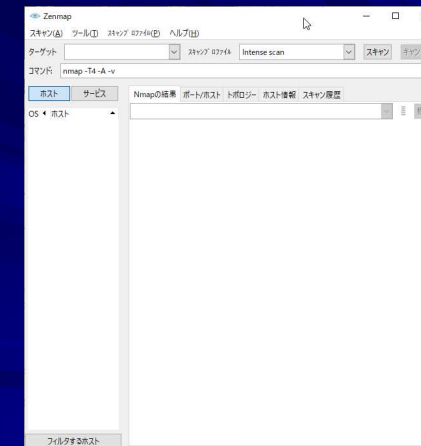




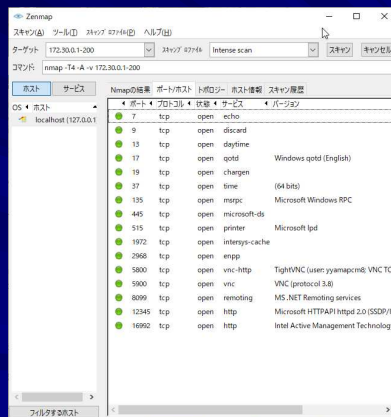
■ ちょっとハッキングツールに近いかな？

■ どのような通信を待っているかを確認する
– Pingが通らないものでも見つける

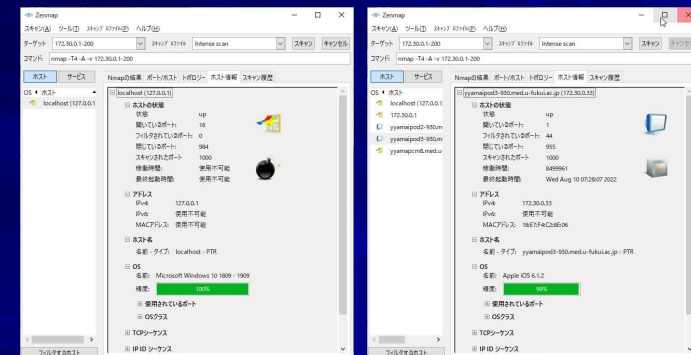
NMAP というツール



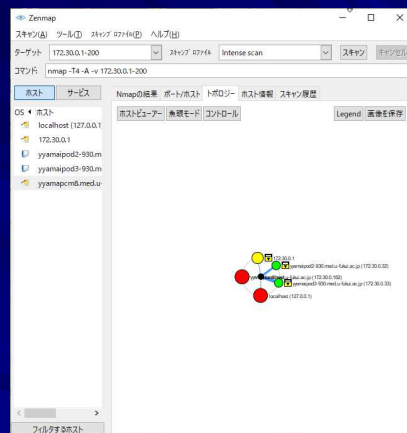
スキャンを行った結果



OSの種類なども探索してくれる



ネット上の一覧を図示してくれる



ペネトレーション・テスト

■ 現実的なサイバー攻撃での耐性試験

- 既知の脆弱性を検出するための特徴的なパターンでの疑似攻撃
- 既知の侵入パターンによる不正侵入の試行
- 既知の攻撃パターンによるサービス妨害の試行
- 外部からのコマンド実行、情報操作、データ取得の試行
- Web系の弱点への総攻撃

何を考えるべきか

- 院内におけるセキュリティのリスクを考える
 - セキュリティ対策の基本
- どうしても、リスク評価は100%とはならない
 - 考えうる対策はするが、「お守り」という認識で
 - エンドポイントだけでは限界
- 何かが起こる可能性を考える
 - 起こった時の対応を考慮する
 - そのためにも、検知のための「網を張る」
 - パターンだけでなく「不審なふるまい」も対応する
 - 万一の時のブロック手段を考慮する

コストをあまりかけずに できることから・・・

- まず、現状でできることをする
 - ウイルス対策ソフトでできることを生かす
 - 異常動作(ふるまい)の検知と集約化
 - セキュリティパッチの代替の機能
 - 病院システムは、アップデートができない場合が多いので
 - OS機能によりできることを生かす
 - 不要な通信を遮断しておく
 - サーバとの通信以外はブロックする
 - 不要なファイル共有やアクセス権の制限
 - 実行権限の制限やドメイン管理での制限



Fukui Prefectural Dinosaur Museum

御清聴ありがとうございました。